

## 【講演記録/東方斎・荒尾精先生追悼式】

偉大な俳人・文化人である金子兜太の父・金子元春は  
東亞同文書院の校医であった愛知大学法経学部経済学科 昭和 33 年卒 小川 悟  
(2019 年 10 月 26 日、東京谷中の全生庵)

## 1.金子家の人びと

「武甲寮歌祭」の席で知った「東亞同文書院校医・金子元春」の紹介は、元春の長男・金子兜太の著書『二度生きられる』チクマ秀出版(1994)と『金子兜太のことば』石寒太著・毎日新聞出版(2018)からの引用ではじめよう。

## 記

- ・金子家は 300 年続いた旧家。秩父街道に面して「養蚕業」兼「うどんや」を営んでいた。
- ・親戚が集まったとき「金子家に医者の一ひとりやふたりがないと、誰かが病気になる」と元春に白羽の矢が立った。父はもともと新聞記者からゆくゆくは政治家になりたかった。
- ・父はこわい存在でした。柔剣道で鍛えた体躯の見るからに剛直な印象でした。
- ・父・元春は「がんしゅん」...私は父のことを「がんしゅん」と読んでいました。元春を音読みすると「がんしゅん」

です。音読みの方が、父のひととなりをよく表わしている気がするからです。

- ・父のことで真っ先に思い出すのは、よく殴られたことです。殴るのがすきで、ご飯を食べると同じ感覚で、平気で子どもを殴るのです。上海時代・3 歳の思い出にロバに乗せられて落ちて、父に殴られたことが浮かび上がってきます。※この件は、元春の次男・千侍からの手紙にも書いてある。
- ・そんな無骨な父ですが、気持ちは温かく、私を筆頭に 6 人の子供を父なりに大事にしてくれました。父は無骨だけでなく、「文」の面も併せ持っていました。杜甫、李白、孔子などの漢籍に親しみ、特に『論語』や『三国志』が好きで、愛読しておりました。本棚にはそういう本が並んでいました。
- ・私は漢籍を身近な存在として、育ったのです。私が李白や陶淵明、李賀が好きだというのも、幼いときの環境が多分に影響しています。

## 金子家 4 人の男たち

名前	経歴・経緯・内容
元春 もと はる	明治 22 年...埼玉県秩父郡皆野村にて出生。昭和 52 年 10 月 1 日、没・88 歳。 大正 04 年...独逸協会中学から京都府立医学専門学校卒。同付属病院で 3 年間医師として勤務。 大正 09 年...3 月、上海東亞同文書院の校医として赴任。豪放磊落な医師としての逸話がある。 大正 15 年...上海から帰国。故郷・皆野村に壺春堂・金子医院を開業。結核療養を目的とした秩父医師会病院を開設、農山林医として結核撲滅に貢

	<p>献。昭和 21 年、6 代秩父郡市医師会会長に就任。※結核は労咳（ろうがい）ともいわれ不治の病であった。</p> <p>赤ひげ先生... 貧しい患者からは治療費や薬代を受け取らず。金子医院の庭先には患者が寄進した樹木が生い繁り、四季折々の草花で賑わっていた。</p> <p>※兜太も著書『金子兜太のことば』のなかで、「変な義侠心がありまして、赤ひげだ、と言われて喜んでいました」と書いている。</p> <p>俳人・伊赤紅... 俳人としても馬酔木に所属し、独協中学時代の友人・水原秋櫻子らとも親交。</p> <p>(いせきこう) 昭和 16 年には自らも『若鮎』を創刊。</p> <p><b>代表作「元日や 餅で押し出す 去年糞」</b></p> <p>秩父音頭の手直し... 昭和初期に風俗を乱すとの理由で禁止の憂き目にあった。昭和 4 年、元春の手で書き直し、節回しやお囃子を現在の形にし、隆盛を取り戻した。</p> <p>校歌の作者... 京都府立医科大学の校歌「遅日の夢」は元春の作詞・作曲によるものである。</p> <p>壺春堂の命名... 元春が上海から帰国するにあたり、現地の人びとから高名な壺が贈られた。</p> <p>こしゅんどう 家人によると、「壺」と元春の「春」に因んで「壺春堂」とのこと。</p>
--	---

名前	経歴・経緯・内容
兜太 とうた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大正 8 年 9 月 23 日、埼玉県比企郡小川町の母・はるの実家で、元春の長男として出生。</li> <li>・旧制熊谷中学→旧制水戸高校→東京帝国大学を昭和 18 年繰り上げ卒業、日本銀行入行。</li> <li>・入行後、海軍経理学校に短期現役士官として入学、主計中尉として任官。トラック島で 200 人の部下を率いる。餓死者が出る中、奇跡的に二度にわたり命拾いする。</li> <li>・同 21 年、捕虜として春島でアメリカ空軍基地建設に従事。</li> <li>・同 21 年 11 月、最後の復員船で帰国。同 22 年 2 月、日銀に復職、4 月、塩谷皆子と結婚。</li> <li>・戦後、社会性俳句運動、前衛俳句運動の中心的な役割を果たす。</li> <li>・現代俳句協会会長、日本芸術院会員、日本ペンクラブ会員、文化功労者、上武大学教授、朝日俳壇選者、日中友好協会常任理事、小林一茶や種田山頭火の研究家としても有名。</li> <li>・代表作「長寿の母 うんこのように 我を生みぬ」 2018 年 2 月 20 日死去、98 歳。</li> </ul>
千侍 せんじ	<p>元春の次男で兜太の弟。元春が開業した「壺春堂・金子医院」院長として医療業務に従事。</p> <p>父・元春が腐心した「新・秩父音頭」の普及に努め「秩父音頭普及協会会長」としても活躍。</p>
桃刀	<p>元春の孫、千侍の長男。医療法人壺春会「金子医院」の院長として医療業務に</p>

ももと	従事。 診療科目…内科、外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、生活習慣病、各種予防接種、ほか。
-----	---

## 2. 「武甲寮歌祭」がとりもつ「愛知大学と金子家」

### ・日本寮歌振興会と日本寮歌祭

旧制高等学校・旧制大学予科の卒業生が「寮歌は日本の文化のひとつだ、これを後世に残していこう」と昭和36年10月、日本寮歌振興会を設立、寮歌の保存・振興・伝承を目的として、文京公会堂で「第1回日本寮歌祭」を開催し今日に至る。2020年で第60回を迎える日本寮歌祭は、8月2日（日）に日暮里の「ホテル・ランウッド」で開催される。寮歌祭は中央の東京のほか、全国各地で「〇〇寮歌祭」が開かれている。埼玉県では、旧制浦和高等学校のOBが中心となり「武甲寮歌祭」を開催していた。

### ・武甲寮歌祭

2008年11月8日、秩父の山奥、埼玉県と山梨県の県境にある柳谷旅館で「武甲寮歌祭」が行われた。愛知大学の出番のとき「愛知大学のルーツは、1901年上海に設立された東亜同文書院に至り、～」と説明した。すると、ご年輩の紳士が「私の父・金子元春は上海の東亜同文書院の校医をしていました。私の兄・金子兜太も2歳から4歳まで上海で過ごしていました……」。この一声で、金子元春の存在を知った。このご老人こそが、金子元春の次男・千侍（せんじ）氏で、縁結びの神様だ。

後日、東亜同文書院に関する諸資料（同窓会名簿、書院4つの特色、創立者・近衛篤磨公の近衛家略系譜、その他）と寮歌祭の写真をお送りした。やがて、丁寧なお手紙をいただいた。

## 3. 金子千侍氏からの手紙

千侍氏から届いた手紙には、おおよそ次のようなことが記されていた。

①父・金子元春は、大正7年から同14年まで、上海東亜同文書院の校医として勤めていた。

②姉が上海で生まれた。

③兄・兜太（3歳のとき）が、同文書院の官舎前広場で、ロバに乗って遊んでいたとき、落馬した。そのとき、父から「この与太男」といって頭を殴られた。このことは母から聞いた話だ。「いくらなんでも、小さい子供が馬から落ちたのを見て『大丈夫か』と問うのが第一声なのに、お父さんは『馬鹿者』と言って殴るのだから、本当に可哀そうだった」と。父は本当に厳しい人でした。

※兄の兜太も著書『二度生きる』の中で、「ご飯を食べるのと同じ感覚で子どもを殴るのです」と。

④今まで、上海東亜同文書院については、そのような家の中の話しか知りませんでした。この度は詳細な資料を賜りましたので、今まで知らなかった同文書院の全貌が理解できました。

## 4. 金子兜太氏からの年賀状

### ・豪放磊落な校医・金子元春

千侍氏からの手紙を見た村上武氏は、千侍氏の兄・金子兜太氏に次のようなエピソードなどを添えた手紙を送った。※村上武氏…同文書院26期・大正15年入学の村上徳太郎の子。

・麻酔薬の備蓄がなかったとき、痔で困っていた学生に「麻酔薬がないが、それで

もやるか」、と問うたうえ、手術した。案の定学生は気絶した。元春曰く「どうせ、失神するのだから」と。

平成26年1月3日、兜太氏から村上氏に年賀状が届き、次のようなことが記されていた。

- ・弟を通じてのお便り、有難う存じました。若いころの父・元春が手術をやったこと愉快です。マスイはやっていないのではないか、などと考えて、更に愉快です。
- ・それと、原子核の知識をいただき、ありがたいです。小生も最終処理に興味があるので、益々…。

## 5. 毎日新聞の記事

2019年3月26日、東亜同文書院に関する研究者・松下哲男氏から「毎日新聞の切り抜き」が届いた。内容は「壺春堂記念会館開設へ」と題した金子元春・兜太に関する記事である。

写真中央の千侍先生を拝見。早速電話すると、事務局の根岸茉莉さんが「千侍先生は2017年にお亡くなりになりました。現在の院長はご子息の桃刀（ももと）先生です」とのこと。千侍先生とご子息の桃刀先生は、まさにウリふたつで、間違えるのは無理もない。このようなヤリトリが縁で交流再会。

## 6. 愛知大学と金子家の交流会

2019年6月10日、桃刀院長から電話あり。「2019年9月23日に、金子兜太生誕100年祭を開催の予定。ついては、祖父・金子元春について、もっと知りたい」とのこと。

愛知大学・藤田佳久先生はじめ関係者に連絡のうえ、交流会を開催することになった。

## ・交流会

開催日 2019年7月18日(木)13時～16時

会場 懇談会・①愛知大学東京事務所、  
②会食・霞山会館のレストラン「ピオニー」

参加者 金子家…金子桃刀先生ご夫妻  
愛知大…愛知大学名誉教授・藤田佳久、産経新聞文化部編集委員・喜多由浩、同窓会埼玉支部長・中川善弘(44)、同窓生・小川千尋(29)、中島寛司(33)、小川悟(33)

確認事項…校医・金子元春は、京都とは深い縁があるようだが、どのような背景・事情か。

- ①埼玉県秩父から京都の府立医学専門学校に学んでいるが。関東各地にも医学校はたくさんあるが、遠方の京都を選んだのはなぜか。
- ②京都府立医学専門学校卒業後、3年間、同附属病院で医師として勤務している。
- ③その後、上海の東亜同文書院校医として赴任しているが、目的・背景はなにか。
- ④「京都の山田医師は上海の校医・金子先生とは従兄弟同士の間柄である」との記述がある。山田医師とはどのような関係か。母方の従兄弟か、父方の従兄弟か。  
※『東亜の先覚者山洲根津先生並びに夫人』に以上の記述がある。
- ⑤金子元春は京都府立医科大学の校歌「遅日の夢」の作詞・作曲をしているが。

金子家の認識…京都とのかかわりについては、ご存知ないようだ。

## 7. 東亞同文書院に附属病院があった

交流会の当日、藤田先生から「東亞同文書院の医療環境の推移」と題した資料により、当時の上海における衛生状況について詳細な説明があった。中でも、「東亞同文書院附属病院」の存在については、今まで全く知らなかったことで、驚きの一言。医学校でもない東亞同文書院に附属病院があるとは。当時の中国の医療環境には厳しいものがあり、各国の出先機関は対応に苦慮していたようである。東亞同文会としては、人間教育を柱とする教育方針から、学生・教職員の健康と生命を守る、と附属病院の建設に踏み切ったもの、と推測される。

大正 8 年…本館に隣接した東部、北部、西部の土地をそれぞれ購入し、構内敷地を拡大した。

本格的な鉄筋コンクリート煉瓦造り 2 階建て、延べ 274 坪の堂々たるものである。

1 階 診察室、調剤室、外科室、顕微鏡室、歯科室、患者控室及び事務室

2 階 病室及び看護婦控室

陣容 校医・金子元春（京都医学専門学校・医学士）、寮監兼校医・陳継武、校医補・久泉登喜蔵、校医補・新長吉、薬剤手・石田明二、校医嘱託・宋虞琪

大正 10 年…『東亞同文書院創立 20 周年・根津院長還暦祝賀記念誌名簿』に校医・金子元春とある。

大正 13 年…『上海東亞同文書院同窓会会員名簿』に校医・金子元春とある。

## 8. 「金子兜太生誕 100 年祭 i n 皆野町」に参加

金子兜太生誕 100 年と没 1 周年を記念して、下記のとおり開催され、愛知大学同窓も出席した。

記

日時 2019 年 9 月 23 日（月・祝）13 時  
会場 皆野町文化会館ホール 埼玉県秩父郡皆野町大字皆野町 1432 番地  
主催 「兜太 TOTA」編集委員会、皆野町、皆野町教育委員会、皆野町商工会、皆野町観光協会  
内容 ①映画「天地悠々 兜太・俳句の一本道」 語り・山根基世、本田博太郎、ほか  
②リレートーク「金子兜太 100 年祭」  
③秩父音頭奉納フィナーレ（元春の手で書き直し、節回しやお囃子を添えた新・秩父音頭）  
まさに、皆野町挙げての一大イベントだ。500 席のホールは満員。元春・兜太の人気の程が分かった。

## 9. 皆野町文化会館ホールに金子元春の立像

ホール正面に高さ 3 メートルくらいの立像があった。当然、金子兜太の立像、と思いきや「赤ひげ先生・金子元春」の立像であった。皆野町にとってみれば、金子家のお二人は町の英雄であろう。

特に、金子元春は上海から帰国した大正時代、金子医院を開設し、町の人びとから「赤ひげ先生」と慕われ、結核療養を目的とした「秩父医師会病院」を設立し結核撲滅に貢献。昭和 21 年には第 6 代秩父郡市医師会会長に就任した大恩人である。立像には皆野町の人たちの「元春への尊敬と感謝の気持ち」が込められているに違いない。

### 10.元春・兜太の生家見学

「金子兜太生誕 100 年祭」の後は、元春・兜太の生家見学である。

広い敷地の中に、生家と土蔵に、現在の金子医院が隣接している。ここで、元春・兜太はじめ、金子家の人びとが暮らしを営んでいたのか、と配付された見取り図を見ながら、感慨深く眺める。

庭先には、「赤ひげ先生」を偲ばせるように樹木や草花が生い茂っている。

生家の一部には、「カフェ伊赤紅・兜太

記念館を」を併設し、ファンの来館に応える予定、とのこと。

金子家に関するいろいろな事実や背景の一端に触れることができた愛知大学同窓にとっては、「実りある一日」であった。

#### ・資料提供

東亜同文書院校医・金子元春の調査に当たっては、関係者から多くの資料が寄せられた。

#### 記

事柄・出版物	内容・出版物	提供者・出典
①金子家の人びと	石寒太著『金子兜太のこぼ』毎日新聞出版 2018	松下哲男・根津家子孫
②元春は「がんしゅん」	金子兜太著『二度生きる』チクマ秀出版 1994 年	松下哲男・根津家子孫
③滬友会名簿 1998 年版	P-10、教職員の部「金子元春」とある	小川悟・愛知大 33 卒
④金子元春の経歴	秩父→京都→上海→秩父。故郷で赤ひげ先生となる	ウィキペディア
⑤金子兜太の経歴	昭和の偉大な俳人・文化人	ウィキペディア
⑥武甲寮歌祭の写真	2008 年 11 月 9 日、奥秩父・柳屋旅館大広間 秩父音頭の歌と踊りを披露する金子千侍先生	小川悟・愛知大 33 卒
⑦同文書院 4 つの特色	①近衛家 28 代当主・近衛篤麿の創設 ②日本初の海外に設立の高等教育機関 ③給費留学生制度 240 円／人・年 ④大陸調査大旅行報告書が卒業論文となる	小川悟・愛知大 33 卒
⑧千侍氏からの手紙	同文書院関連資料送付に対する返信	小川悟・愛知大 33 卒
⑨兜太氏からの年賀状	弟・千侍を通しての便りに対する年賀状 元春は麻酔なしで痔の手術をやった。愉快である	村上武・書院 26 期 徳太郎氏の子
⑩毎日新聞の切り抜き	2019 年 3 月 16 日付、「壺春堂記念会館開設へ」	松下哲男・根津家子孫
⑪東亜同文書院附属病院	「東亜同文書院生の医療環境の推移」から 鉄筋コンクリート煉瓦造り 2 階建・延べ 274	愛知大学名誉教授 藤田佳久

	坪	
⑫東亜同文書院職員名簿	大正 10 年版、同文書院創立 20 周年記念・根津院長還暦記念誌名簿に医師・金子元春とある	松下哲男・根津家子孫
⑬同文書院同窓会名簿	大正 13 年版、京都医学士・金子元春とある	松下哲男・根津家子孫
⑭東亜の先覚者山洲根津 並びに夫人	京都の医師・山田先生と金子元春は従兄弟同士 山田医院は堀川丸太町下った所にある	松下哲男・根津家子孫
⑮元春は校歌の作者	京都府立医科大学校歌「遅日の夢」の作詞・作曲 『平成の愛好寮歌 80 曲選』に収録されている	著者・尾崎良江 高井和伸・愛知大 42 卒
⑯100 年祭記念プログラム	2019・9・23「金子兜太生誕 100 年祭 i n 皆野町」	元春の孫・金子桃刀
⑰元春・兜太の生家と壺 春堂金子醫院見取り図	旧診察室、看護婦室、書齋、仏間、客間、中 の間 板の間、厨房、土蔵 1 階、2 階	元春の孫・金子桃刀
⑱交流会の写真	愛知大学東京事務所が入居の霞山会館ロビーにて 中央の二人が金子桃刀院長夫妻	小川悟・愛知大 33 卒
⑲金子家の家系図	元春と妻・はる、長男・兜太と次男・千侍 兜太の長男・真土と千侍の長男・桃刀	松下哲男・根津家子孫

以上

2020 年 3 月 10 日

小川悟（昭和 33 年愛知大学卒）  
富士ゼロックス株式会社社友  
日本寮歌振興会・広報部長